

アルビクス・映像 / 音声エラー検出装置 VAD-200HD/D

Rev.1.3

特 長

HD - SDI信号入力に対応した映像 / 音声エラー検出装置です。
 VAD - 200では、不可能であった音声の比較エラー検知に対応しています。
 その他基本機能はVAD - 200と同じです。

仕 様

送出側映像・音声入力信号

入力信号数 : 1系統
 信号形式 : 映像 : SD-SDI SMPTE259M - C 480i[D1]
 HD-SDI SMPTE292M 1080i
 : 音声 : エンベデッドオーディオ 48KHz 16bit 4ch / 8ch

入力接栓 : BNCコネクタ

IRD側映像・音声入力信号

入力信号数 : 1系統
 信号形式 : 映像 : SD-SDI SMPTE259M - C 480i[D1]
 HD-SDI SMPTE292M 1080i
 : 音声 : エンベデッドオーディオ 48KHz 16bit 4ch / 8ch

入力接栓 : BNCコネクタ

ARIB STD-B39形式の局間情報を読み取り、稼動中に画角設定 / 音声出力方式が
 変化した場合の自動連動に対応

映像モニタ出力信号

出力信号数 : 送出側ディレイ・IRD側 各1系統
 信号形式 : NTSC、アナログVBS
 出力接栓 : BNCコネクタ

映像調整用比較映像モニタ出力信号

出力信号数 : 2系統
 信号形式 : NTSC、アナログVBS
 出力接栓 : BNCコネクタ

音声モニタ出力信号

出力信号数 : 送出側ディレイ 2系統
 IRD側 2系統
 信号形式 : アナログ アンバランスステレオ
 入力接栓 : RCAピンジャック

外部通知

通信仕様 : 100BASE-TX/10BASE-T 対応 LAN インタフェース
 プロトコル : SNMP
 コネクタ : RJ - 45モジュラ

仕様及び外観は改良のため予告なく変更することがあります

【型番】

VAD-200HD/D

アルビクス株式会社

【整理番号】

外形寸法 : W430 × H44 × D630 mm (コネクタ等の突起部を含まず)
 質量 : 約 8 kg
 電源電圧 : 100V ± 10% AC 50 / 60Hz
 消費電力 : 約 50 W
 使用温度 : 5 ~ 40

送出側映像・音声エラー検知項目

- ・映像状態(HD / SD / 同期断) 検知
- ・映像ベースフリーズ
- ・映像ベース黒味
- ・映像ベースレベル異常
- ・映像クローズドキャプション検出(VBI字幕、ANC字幕)
- ・映像ウィンドウフリーズ
- ・映像ウィンドウ黒味
- ・音声レベル異常(無音 / レベル高 / レベル低)
 M/2M/3M/4M/S/2S/S+M/S+2M: 主音L、主音R、副音L、副音R
 5.1/5.1+S: L、R、C、LFE、LS、RS、Lt、Rt
- ・音声逆相
 M/2M/3M/4M/S/2S/S+M/S+2M: L(Main) - R(Main)間及びL(Sub) - R(Sub)間
 5.1+S: L - R(ダウンミックス)間及びLt - Rt間
- ・1kHz音声検出
 M/2M/3M/4M/S/2S/S+M/S+2M: L(Main)、R(Main)、L(Sub)、R(Sub)
 5.1/5.1+S: L - R(ダウンミックス)、Lt - Rt

IRD側映像・音声エラー検知項目

- ・映像状態(HD / SD / 同期断)検知
- ・映像ベースフリーズ
- ・映像ベース黒味
- ・映像ベースレベル異常
- ・映像クローズドキャプション検出(VBI字幕)
- ・映像ウィンドウフリーズ
- ・映像ウィンドウ黒味
- ・音声レベル異常(無音 / レベル高 / レベル低)
 M/2M/3M/4M/S/2S/S+M/S+2M: 主音L、主音R、副音L、副音R
 5.1/5.1+S: L、R、C、LFE、LS、RS、Lt、Rt
- ・音声逆相
 M/2M/3M/4M/S/2S/S+M/S+2M: L(Main) - R(Main)間及びL(Sub) - R(Sub)間
 5.1+S: L - R(ダウンミックス)間及びLt - Rt間
- ・1kHz音声検出
 M/2M/3M/4M/S/2S/S+M/S+2M: L(Main)、R(Main)、L(Sub)、R(Sub)
 5.1/5.1+S: L - R(ダウンミックス)、Lt - Rt

エンベデッドオーディオチャンネル割り当て

オーディオグループ	ch	M/2M/3M/4M/S/2S/S+M/S+2M	5.1/5.1+S
1	1	L(Main)/Mono1	L
	2	R(Main)/Mono2	R
	3	L(Sub)/Mono3	C
	4	R(Sub)/Mono4	LFE
2	5	-----	LS
	6	-----	RS
	7	-----	Lt
	8	-----	Rt

仕様及び外観は改良のため予告なく変更することがあります。

【型番】 VAD-200HD/D	アルビクス株式会社	【整理番号】
---------------------	-----------	--------

比較エラー検知項目

- ・映像比較 一致 / 不一致
- ・音声比較 一致 / 不一致

比較ch系統	比較ペア	M/2M/3M/4M/S/2S/S+M/S+2M	5.1/5.1+S
系統1	L	L(Main)/Mono1	ダウンミックス音声の Lch 側
		L(Main)/Mono1	ダウンミックス音声の Lch 側
	R	R(Main)/Mono2	ダウンミックス音声の Rch 側
		R(Main)/Mono2	ダウンミックス音声の Rch 側
系統2	L	L(Sub) /Mono3	L t
		L(Sub) /Mono3	L t
	R	R(Sub) /Mono4	R t
		R(Sub) /Mono4	R t

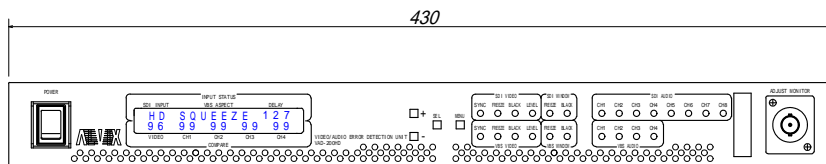
遅延量計測機能 : 送出側に対するIRD側の遅延量を計測

- ・映像: 1 ~ 160フレーム
- ・音声: 1 ~ 150フレーム

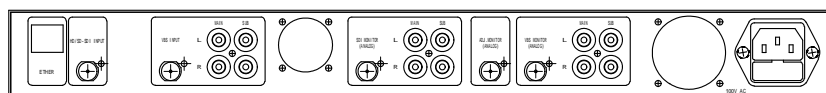
信号遅延能力

- ・映像: 1 ~ 160フレーム (最大遅延量: 約5.3秒)
- ・音声: 1 ~ 150フレーム (最大遅延量: 約5.1秒)

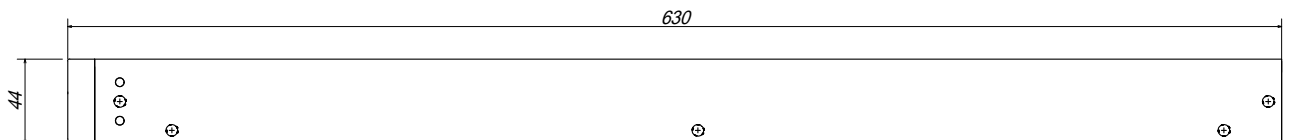
外 観 図



前面



背面



側面

仕様及び外観は改良のため予告なく変更することがあります。

【型番】 VAD-200HD/D	アルビクス株式会社	【整理番号】
---------------------	-----------	--------

SNMP MIB 構造 (TBD)

iso.org.dod.internet.private.enterprise.honko.vad200hd (1.3.6.1.4.1.19892.4) より以下を示す。

下表の“入力”は送出側、“出力”はIRD側

項目 1	項目 2	項目 3	項目 4	値	種別	データ型	内容	対応オペレーション
systemVAD(1)	version(1)	farmVer(1)		000 ~ 999	読み込み	OCTET STRING	ファームウェアのバージョン バージョンが1.00のとき、100。 1.01のとき101となります。	GetRequestに対応
		hardVer(2)		000 ~ 999	読み込み	OCTET STRING	ハードウェアのバージョン バージョンが1.00のとき、100。 1.01のとき101となります。	GetRequestに対応
		snmpFarmVer(3)		000 ~ 999	読み込み	OCTET STRING	SNMP制御部ファームウェアのバージョン バージョンが1.00のとき、100。 1.01のとき101となります。	GetRequestに対応
	time(2)			yy:yy:mm:dd:hh:mm:ss:xx	読み書き	DateAndTime	VA - DETの現在日時 電源投入時は1年1月1日0時0分0秒にリセットされるので、マネージャーから現在時刻を設定する必要があります。 (xxの値について) xxの値は、00Hexを設定してください。 xxの値を設定した場合、正常に設定完了しますが、 VA内部ではxxの値は設定しません。(内部は00Hex 固定) また、xxの値を省略した7Byteでも設定可能です。 SetRequestに対する、GetResponseの時、xxの値は、設定された値をVAより送信します。 但しVA内部ではxxの値は設定しません。 GetRequestに対する、GetResponseの時、xxの値は、00Hex 固定でVAより送信します。 Trapの時、xxの値は、00Hex 固定でVAより送信します。	GetRequest・SetRequestに対応 Trap通知時、先頭に付加されます。
status(2)				0: 正常 1: 電源異常 2: 起動中 3: デイレイ値計測中	読み込み	INTEGER	VA - DETステータス 正常: エラー検知を実行中です。 電源異常: 電源電圧が異常です。 起動中: VA - DETの初期化処理中です。 デイレイ値計測中: 映像比較デイレイを計測中です。	GetRequest・Trapに対応

measure(3)	delay(1)	videoDelay(1)		000 ~ 128	読み込み	INTEGER	映像比較ディレイ値 SDI入力1(送出側ビデオ信号)とSDI入力2(IRD側ビデオ信号)の遅延量です。 遅延量はフレーム数で表されます。	GetRequestに対応
		audioDelay(2)		000 ~ 128	読み込み	INTEGER	音声比較ディレイ値 SDI入力1(送出側ビデオ信号)とSDI入力2(IRD側ビデオ信号)の音声信号の遅延量です。 遅延量はフレーム数に換算された値で表されます。	GetRequestに対応
	inputAudio(2)	ch1In (1)		000 ~ 060	読み込み	INTEGER	入力音声ch1レベル SDI入力1(送出側ビデオ信号)の音声信号ch1(L)のレベルです。 単位は - dBで、読み込みが30の場合、レベルは - 30dBです。 0dBが最大(フルスケール)、- 50dBが最小(完全無音)です。	GetRequestに対応
		ch2In (2)		000 ~ 060	読み込み	INTEGER	入力音声ch2レベル SDI入力1(送出側ビデオ信号)の音声信号ch2(R)のレベルです。	GetRequestに対応
		ch3In (3)		000 ~ 060	読み込み	INTEGER	入力音声ch3レベル SDI入力1(送出側ビデオ信号)の音声信号ch3(C)のレベルです。	GetRequestに対応
		ch4In (4)		000 ~ 060	読み込み	INTEGER	入力音声ch4レベル SDI入力1(送出側ビデオ信号)の音声信号ch4(LFE)のレベルです。	GetRequestに対応
		ch5In (5)		000 ~ 060	読み込み	INTEGER	入力音声ch5レベル SDI入力1(送出側ビデオ信号)の音声信号ch5(LS)のレベルです。	GetRequestに対応
		ch6In (6)		000 ~ 060	読み込み	INTEGER	入力音声ch6レベル SDI入力1(送出側ビデオ信号)の音声信号ch6(RS)のレベルです。	GetRequestに対応
		ch7In (7)		000 ~ 060	読み込み	INTEGER	入力音声ch7レベル SDI入力1(送出側ビデオ信号)の音声信号ch7(Lt)のレベルです。	GetRequestに対応
		ch8In (8)		000 ~ 060	読み込み	INTEGER	入力音声ch8レベル SDI入力1(送出側ビデオ信号)の音声信号ch8(Rt)のレベルです。	GetRequestに対応
	outputAudio(3)	ch1Out (1)		000 ~ 060	読み込み	INTEGER	出力音声ch1レベル SDI入力2(IRD側ビデオ信号)の音声信号ch1(L)のレベルです。 単位は - dBで、読み込みが30の場合、レベルは - 30dBです。	GetRequestに対応
		ch2Out (2)		000 ~ 060	読み込み	INTEGER	出力音声ch2レベル SDI入力2(IRD側ビデオ信号)の音声信号ch2(R)のレベルです。	GetRequestに対応
		ch3Out (3)		000 ~ 060	読み込み	INTEGER	出力音声ch3レベル SDI入力2(IRD側ビデオ信号)の音声信号ch3(C)のレベルです。	GetRequestに対応
		ch4Out (4)		000 ~ 060	読み込み	INTEGER	出力音声ch4レベル SDI入力2(IRD側ビデオ信号)の音声信号ch4(LFE)のレベルです。	GetRequestに対応
		ch5Out (5)		000 ~ 060	読み込み	INTEGER	出力音声ch5レベル SDI入力2(IRD側ビデオ信号)の音声信号ch5(LS)のレベルです。	GetRequestに対応
		ch6Out (6)		000 ~ 060	読み込み	INTEGER	出力音声ch6レベル SDI入力2(IRD側ビデオ信号)の音声信号ch6(RS)のレベルです。	GetRequestに対応
		ch7Out (7)		000 ~ 060	読み込み	INTEGER	出力音声ch7レベル SDI入力2(IRD側ビデオ信号)の音声信号ch7(Lt)のレベルです。	GetRequestに対応
		ch8Out (8)		000 ~ 060	読み込み	INTEGER	出力音声ch8レベル SDI入力2(IRD側ビデオ信号)の音声信号ch8(Rt)のレベルです。	GetRequestに対応
	compare(4)	videoDisagreement(1)		000 ~ 096	読み込み	INTEGER	映像比較の不一致ブロック数 0 = 完全一致、96 = 完全不一致	GetRequestに対応
		audioDisagreementLmain(2)		000 ~ 100	読み込み	INTEGER	音声比較 Lch(主音)の相関値 {100-(相関係数×100)} 000 = 完全一致、100 = 相関関係無し	GetRequestに対応
audioDisagreementRmain(3)			000 ~ 100	読み込み	INTEGER	音声比較 Rch(主音)の相関値 {100-(相関係数×100)} 000 = 完全一致、100 = 相関関係無し	GetRequestに対応	
audioDisagreementLsub(4)			000 ~ 100	読み込み	INTEGER	音声比較 Lch(副音)の相関値 {100-(相関係数×100)} 000 = 完全一致、100 = 相関関係無し	GetRequestに対応	
audioDisagreementRsub(5)			000 ~ 100	読み込み	INTEGER	音声比較 Rch(副音)の相関値 {100-(相関係数×100)} 000 = 完全一致、100 = 相関関係無し	GetRequestに対応	

unitSetting(4)	windowPoint(1)	windowPointX1(1)		000 ~ 720	読み書き	INTEGER	ウィンドウ座標 X1 WINDOW(子画面)範囲設定の、モニタ画面上の水平開始座標です。	GetRequest・SetRequestに対応	
		windowPointX2(2)		000 ~ 720	読み書き	INTEGER	ウィンドウ座標 X2 WINDOW(子画面)範囲設定の、モニタ画面上の水平終了座標です。 (水平終了座標 - 水平開始座標) > 100である必要があります。(水平終了座標 - 水平開始座標) 100の場合、WINDOW設定は無効(設定OFF)となります。	GetRequest・SetRequestに対応	
		windowPointY1(3)		000 ~ 485	読み書き	INTEGER	ウィンドウ座標 Y1 WINDOW(子画面)範囲設定の、モニタ画面上の垂直開始座標です。	GetRequest・SetRequestに対応	
		windowPointY2(4)		000 ~ 485	読み書き	INTEGER	ウィンドウ座標 Y2 WINDOW(子画面)範囲設定の、モニタ画面上の垂直終了座標です。 (垂直終了座標 - 垂直開始座標) > 30である必要があります。(垂直終了座標 - 垂直開始座標) 30の場合、WINDOW設定は無効(設定OFF)となります。	GetRequest・SetRequestに対応	
	audioLevel(2)	audiolnCh1Thres(1)	Low1ln(1)		000 ~ 050	読み書き	INTEGER	入力音声 ch1 レベル低 しきい値 SDI入力 1(送出側ビデオ信号)の音声信号ch1(L)のレベル低検知設定です。 単位は - dBで、読みが30の場合、レベルは - 30dBです。	GetRequest・SetRequestに対応
			High1ln(2)		000 ~ 050	読み書き	INTEGER	入力音声 ch1 レベル高 しきい値 SDI入力 1(送出側ビデオ信号)の音声信号ch1(L)のレベル高検知設定です。	GetRequest・SetRequestに対応
			Silent1ln(3)		000 ~ 060	読み書き	INTEGER	入力音声 ch1 無音 しきい値 SDI入力 1(送出側ビデオ信号)の音声信号ch1(L)の無音検知設定です。	GetRequest・SetRequestに対応
		audiolnCh2Thres(2)	Low2ln(1)		000 ~ 050	読み書き	INTEGER	入力音声 ch2 レベル低 しきい値 SDI入力 1(送出側ビデオ信号)の音声信号ch2(R)のレベル低検知設定です。	GetRequest・SetRequestに対応
			High2ln(2)		000 ~ 050	読み書き	INTEGER	入力音声 ch2 レベル高 しきい値 SDI入力 1(送出側ビデオ信号)の音声信号ch2(R)のレベル高検知設定です。	GetRequest・SetRequestに対応
			Silent2ln(3)		000 ~ 060	読み書き	INTEGER	入力音声 ch2 無音 しきい値 SDI入力 1(送出側ビデオ信号)の音声信号ch1(R)の無音検知設定です。	GetRequest・SetRequestに対応
		audiolnCh3Thres(3)	Low3ln(1)		000 ~ 050	読み書き	INTEGER	入力音声 ch3 レベル低 しきい値 SDI入力 1(送出側ビデオ信号)の音声信号ch3(C)のレベル低検知設定です。	GetRequest・SetRequestに対応
			High3ln(2)		000 ~ 050	読み書き	INTEGER	入力音声 ch3 レベル高 しきい値 SDI入力 1(送出側ビデオ信号)の音声信号ch3(C)のレベル高検知設定です。	GetRequest・SetRequestに対応
			Silent3ln(3)		000 ~ 060	読み書き	INTEGER	入力音声 ch3 無音 しきい値 SDI入力 1(送出側ビデオ信号)の音声信号ch1(C)の無音検知設定です。	GetRequest・SetRequestに対応
		audiolnCh4Thres(4)	Low4ln(1)		000 ~ 050	読み書き	INTEGER	入力音声 ch4 レベル低 しきい値 SDI入力 1(送出側ビデオ信号)の音声信号ch4(LFE)のレベル低検知設定です。	GetRequest・SetRequestに対応
			High4ln(2)		000 ~ 050	読み書き	INTEGER	入力音声 ch4 レベル高 しきい値 SDI入力 1(送出側ビデオ信号)の音声信号ch4(LFE)のレベル高検知設定です。	GetRequest・SetRequestに対応
			Silent4ln(3)		000 ~ 060	読み書き	INTEGER	入力音声 ch4 無音 しきい値 SDI入力 1(送出側ビデオ信号)の音声信号ch4(LFE)の無音検知設定です。	GetRequest・SetRequestに対応
		audiolnCh5Thres(5)	Low5ln(1)		000 ~ 050	読み書き	INTEGER	入力音声 ch5 レベル低 しきい値 SDI入力 1(送出側ビデオ信号)の音声信号ch5(LS)のレベル低検知設定です。	GetRequest・SetRequestに対応
			High5ln(2)		000 ~ 050	読み書き	INTEGER	入力音声 ch5 レベル高 しきい値 SDI入力 1(送出側ビデオ信号)の音声信号ch5(LS)のレベル高検知設定です。	GetRequest・SetRequestに対応
			Silent5ln(3)		000 ~ 060	読み書き	INTEGER	入力音声 ch5 無音 しきい値 SDI入力 1(送出側ビデオ信号)の音声信号ch1(LS)の無音検知設定です。	GetRequest・SetRequestに対応
		audiolnCh6Thres(6)	Low6ln(1)		000 ~ 050	読み書き	INTEGER	入力音声 ch6 レベル低 しきい値 SDI入力 1(送出側ビデオ信号)の音声信号ch6(RS)のレベル低検知設定です。	GetRequest・SetRequestに対応
High6ln(2)			000 ~ 050	読み書き	INTEGER	入力音声 ch6 レベル高 しきい値 SDI入力 1(送出側ビデオ信号)の音声信号ch6(RS)のレベル高検知設定です。	GetRequest・SetRequestに対応		
Silent6ln(3)			000 ~ 060	読み書き	INTEGER	入力音声 ch6 無音 しきい値 SDI入力 1(送出側ビデオ信号)の音声信号ch6(RS)の無音検知設定です。	GetRequest・SetRequestに対応		

unitSetting(4)	audioLevel(2)	audioInCh7Thres(7)	Low7In(1)	000 ~ 050	読み書き	INTEGER	入力音声 ch7 レベル低 しきい値 SD:入力 1(送出側ビデオ信号)の音声信号ch7(Lt)のレベル低検知設定です。	GetRequest・SetRequestに対応
			High7In(2)	000 ~ 050	読み書き	INTEGER	入力音声 ch7 レベル高 しきい値 SD:入力 1(送出側ビデオ信号)の音声信号ch7(Lt)のレベル高検知設定です。	GetRequest・SetRequestに対応
			Silent7In(3)	000 ~ 060	読み書き	INTEGER	入力音声 ch7 無音 しきい値 SD:入力 1(送出側ビデオ信号)の音声信号ch7(Lt)の無音検知設定です。	GetRequest・SetRequestに対応
		audioInCh8Thres(8)	Low8In(1)	000 ~ 050	読み書き	INTEGER	入力音声 ch8 レベル低 しきい値 SD:入力 1(送出側ビデオ信号)の音声信号ch8(Rt)のレベル低検知設定です。	GetRequest・SetRequestに対応
			High8In(2)	000 ~ 050	読み書き	INTEGER	入力音声 ch8 レベル高 しきい値 SD:入力 1(送出側ビデオ信号)の音声信号ch8(Rt)のレベル高検知設定です。	GetRequest・SetRequestに対応
			Silent8In(3)	000 ~ 060	読み書き	INTEGER	入力音声 ch8 無音 しきい値 SD:入力 1(送出側ビデオ信号)の音声信号ch8(Rt)の無音検知設定です。	GetRequest・SetRequestに対応
		audioOutCh1Thres(9)	Low1Out(1)	000 ~ 050	読み書き	INTEGER	出力音声 ch1 レベル低 しきい値 SD:入力 2(IRD 側ビデオ信号)の音声信号ch1(L)のレベル低検知設定です。 単位は - dBで、読みが30の場合、レベルは - 30dBです。	GetRequest・SetRequestに対応
			High1Out(2)	000 ~ 050	読み書き	INTEGER	出力音声 ch1 レベル高 しきい値 SD:入力 2(IRD 側ビデオ信号)の音声信号ch1(L)のレベル高検知設定です。	GetRequest・SetRequestに対応
			Silent1Out(3)	000 ~ 060	読み書き	INTEGER	出力音声 ch1 無音 しきい値 SD:入力 2(IRD 側ビデオ信号)の音声信号ch1(L)の無音検知設定です。	GetRequest・SetRequestに対応
		audioOutCh2Thres(10)	Low2Out(1)	000 ~ 050	読み書き	INTEGER	出力音声 ch2 レベル低 しきい値 SD:入力 2(IRD 側ビデオ信号)の音声信号ch2(R)のレベル低検知設定です。	GetRequest・SetRequestに対応
			High2Out(2)	000 ~ 050	読み書き	INTEGER	出力音声 ch2 レベル高 しきい値 SD:入力 2(IRD 側ビデオ信号)の音声信号ch2(R)のレベル高検知設定です。	GetRequest・SetRequestに対応
			Silent2Out(3)	000 ~ 060	読み書き	INTEGER	出力音声 ch2 無音 しきい値 SD:入力 2(IRD 側ビデオ信号)の音声信号ch2(R)の無音検知設定です。	GetRequest・SetRequestに対応
		audioOutCh3Thres(11)	Low3Out(1)	000 ~ 050	読み書き	INTEGER	出力音声 ch3 レベル低 しきい値 SD:入力 2(IRD 側ビデオ信号)の音声信号ch3(C)のレベル低検知設定です。	GetRequest・SetRequestに対応
			High3Out(2)	000 ~ 050	読み書き	INTEGER	出力音声 ch3 レベル高 しきい値 SD:入力 2(IRD 側ビデオ信号)の音声信号ch3(C)のレベル高検知設定です。	GetRequest・SetRequestに対応
			Silent3Out(3)	000 ~ 060	読み書き	INTEGER	出力音声 ch3 無音 しきい値 SD:入力 2(IRD 側ビデオ信号)の音声信号ch3(C)の無音検知設定です。	GetRequest・SetRequestに対応
		audioOutCh4Thres(12)	Low4Out(1)	000 ~ 050	読み書き	INTEGER	出力音声 ch4 レベル低 しきい値 SD:入力 2(IRD 側ビデオ信号)の音声信号ch4(LFE)のレベル低検知設定です。	GetRequest・SetRequestに対応
			High4Out(2)	000 ~ 050	読み書き	INTEGER	出力音声 ch4 レベル高 しきい値 SD:入力 2(IRD 側ビデオ信号)の音声信号ch4(LFE)のレベル高検知設定です。	GetRequest・SetRequestに対応
			Silent4Out(3)	000 ~ 060	読み書き	INTEGER	出力音声 ch4 無音 しきい値 SD:入力 2(IRD 側ビデオ信号)の音声信号ch4(LFE)の無音検知設定です。	GetRequest・SetRequestに対応
		audioOutCh5Thres(13)	Low5Out(1)	000 ~ 050	読み書き	INTEGER	出力音声 ch5 レベル低 しきい値 SD:入力 2(IRD 側ビデオ信号)の音声信号ch5(Ls)のレベル低検知設定です。	GetRequest・SetRequestに対応
			High5Out(2)	000 ~ 050	読み書き	INTEGER	出力音声 ch5 レベル高 しきい値 SD:入力 2(IRD 側ビデオ信号)の音声信号ch5(Ls)のレベル高検知設定です。	GetRequest・SetRequestに対応
			Silent5Out(3)	000 ~ 060	読み書き	INTEGER	出力音声 ch5 無音 しきい値 SD:入力 2(IRD 側ビデオ信号)の音声信号ch5(Ls)の無音検知設定です。	GetRequest・SetRequestに対応
audioOutCh6Thres(14)	Low6Out(1)	000 ~ 050	読み書き	INTEGER	出力音声 ch6 レベル低 しきい値 SD:入力 2(IRD 側ビデオ信号)の音声信号ch6(Rs)のレベル低検知設定です。	GetRequest・SetRequestに対応		
	High6Out(2)	000 ~ 050	読み書き	INTEGER	出力音声 ch6 レベル高 しきい値 SD:入力 2(IRD 側ビデオ信号)の音声信号ch6(Rs)のレベル高検知設定です。	GetRequest・SetRequestに対応		
	Silent6Out(3)	000 ~ 060	読み書き	INTEGER	出力音声 ch6 無音 しきい値 SD:入力 2(IRD 側ビデオ信号)の音声信号ch6(Rs)の無音検知設定です。	GetRequest・SetRequestに対応		
audioOutCh7Thres(15)	Low7Out(1)	000 ~ 050	読み書き	INTEGER	出力音声 ch7 レベル低 しきい値 SD:入力 2(IRD 側ビデオ信号)の音声信号ch7(Lt)のレベル低検知設定です。	GetRequest・SetRequestに対応		

unitSetting(4)	audioLevel(2)	audioOutCh7Thres(15)	High7Out(2)	000 ~ 050	読み書き	INTEGER	出力音声 ch7 レベル高 しきい値 SD入力 2(IRD 側ビデオ信号)の音声信号 ch7(Lt)のレベル高検知設定です。	GetRequest・SetRequestに対応
			Silent7Out(3)	000 ~ 060	読み書き	INTEGER	出力音声 ch7 無音 しきい値 SD入力 2(IRD 側ビデオ信号)の音声信号 ch7(Lt)の無音検知設定です。	GetRequest・SetRequestに対応
		audioOutCh8Thres(16)	Low8Out(1)	000 ~ 050	読み書き	INTEGER	出力音声 ch8 レベル低 しきい値 SD入力 2(IRD 側ビデオ信号)の音声信号 ch8(Rt)のレベル低検知設定です。	GetRequest・SetRequestに対応
			High8Out(2)	000 ~ 050	読み書き	INTEGER	出力音声 ch8 レベル高 しきい値 SD入力 2(IRD 側ビデオ信号)の音声信号 ch8(Rt)のレベル高検知設定です。	GetRequest・SetRequestに対応
			Silent8Out(3)	000 ~ 060	読み書き	INTEGER	出力音声 ch8 無音 しきい値 SD入力 2(IRD 側ビデオ信号)の音声信号 ch8(Rt)の無音検知設定です。	GetRequest・SetRequestに対応
	videoThresholdCompare(3)	videoCompare1(1)		000 ~ 004	読み書き	INTEGER	画像比較 しきい値1 映像比較前のフィルタ処理を切り替えます。 設定値が大きければ比較エラーを検知しやすくなります。 標準設定は3です。	GetRequest・SetRequestに対応
		videoCompare2(2)		000 ~ 095	読み書き	INTEGER	画像比較 しきい値2 比較エラーとする不一致ブロック数を設定します。 設定値以上のエラーブロックがある場合に比較エラーとします。	GetRequest・SetRequestに対応
	sizeAdjust(4)	hSize(1)		000 ~ 031	読み書き	INTEGER	入出力映像 水平サイズ設定 SD入力 1(送出側)の水平サイズを調整します。 標準値(無調整)=16で、値を小さくする(15,14,13...)と水平サイズを縮小し、 値を大きくする(17,18,19...)と水平サイズを拡大します。	GetRequest・SetRequestに対応
		vSize(2)		000 ~ 031	読み書き	INTEGER	入出力映像 垂直サイズ設定 SD入力 1(送出側)の垂直サイズを調整します。 標準値(無調整)=16で、値を小さくする(15,14,13...)と垂直サイズを縮小し、 値を大きくする(17,18,19...)と垂直サイズを拡大します。	GetRequest・SetRequestに対応
		hPosition(3)		000 ~ 031	読み書き	INTEGER	入出力映像 水平位置設定 SD入力 1(送出側)の水平位置を調整します。 標準値(無調整)=16で、値を小さくする(15,14,13...)と映像の位置を左に移動し、 値を大きくする(17,18,19...)と映像の位置を右に移動します。	GetRequest・SetRequestに対応
		vPosition(4)		000 ~ 031	読み書き	INTEGER	入出力映像 垂直位置設定 SD入力 1(送出側)の垂直位置を調整します。 標準値(無調整)=16で、値を小さくする(15,14,13...)と映像の位置を下に移動し、 値を大きくする(17,18,19...)と映像の位置を上を移動します。	GetRequest・SetRequestに対応
		irdDownConvert(5)		000 ~ 003	読み書き	INTEGER	SD入力 2(IRD 側)に接続されるチューナーの、 HD SD ダウンコンバート処理の方式を指定します。 0:サイドカット 1:スクイーズ 2:レターボックス(16:9) 3:レターボックス(14:9)	GetRequest・SetRequestに対応
	audioThresholdCompare(5)	audioCompare1(1)		000 ~ 100	読み書き	INTEGER	音声比較 しきい値 音声比較の相関値が設定値を上回った場合に不一致とします。	GetRequest・SetRequestに対応
		audioCompareCh(2)		000 ~ 003	読み書き	INTEGER	音声比較ch設定 0:送出側 ch1/ch2(主音 L/R)と、IRD 側主音 Lch/Rch を比較します。 1:送出側 ch7/ch8(副音 Lt/Rt)と、IRD 側副音 Lch/Rch を比較します。 2:音声比較OFF	GetRequest・SetRequestに対応
		audioInMixMain(3)		000 ~ 002	読み書き	INTEGER	SD入力 2(IRD 側)に接続されるチューナーの 主音 Lch/Rch から出力される音声の生成方式を指定します。 0:ch1/ch2(主音 L/R)の音声を Lch/Rch から出力 1:ch7/ch8(副音 Lt/Rt)の音声を Lch/Rch から出力 2:ch1 ~ ch6(L/R/C/LFE/LS/RS)から算出したダウンミックス音声を Lch/Rch から出力	GetRequest・SetRequestに対応
		audioInMixSub(4)		000 ~ 002	読み書き	INTEGER	SD入力 2(IRD 側)に接続されるチューナーの 副音 Lch/Rch から出力される音声の生成方式を指定します。 0:ch1/ch2(主音 L/R)の音声を Lch/Rch から出力 1:ch7/ch8(副音 Lt/Rt)の音声を Lch/Rch から出力 2:ch1 ~ ch6(L/R/C/LFE/LS/RS)から算出したダウンミックス音声を Lch/Rch から出力	GetRequest・SetRequestに対応

unitSetting(4)	otherSetting(6)	inputAudioDetect(1)		000 ~ 003	読み書き	INTEGER	入力音声検知ON / OFF 0:全ch検知ON 1:ch1/ch2(主音 L/R)のみ検知ON 2:ch7/ch8(副音 Lt/Rt)のみ検知ON 3:検知OFF	GetRequest・SetRequestに対応
		outputAudioDetect(2)		000 ~ 003	読み書き	INTEGER	出力音声検知ON / OFF 0:全ch検知ON 1:ch1/ch2(主音 L/R)のみ検知ON 2:ch3/ch4(副音 L/R)のみ検知ON 3:検知OFF	GetRequest・SetRequestに対応
		windowDisp(3)		000 ~ 001	読み書き	INTEGER	window範囲表示ON / OFF 0:OFF 1:モニタ画面上にwindow設定範囲を表示します。	GetRequest・SetRequestに対応
		videoDelay(4)		000 ~ 128 または 998 ~ 999	読み書き	INTEGER	映像ディレイ設定 0 ~ 128:設定したフレーム数がディレイ値となります。 998:音声遅延量計測基準自動設定 999:映像遅延量計測基準自動設定	GetRequest・SetRequestに対応
		readANCInfo(5)		000 ~ 001	読み書き	INTEGER	局間情報読み取りON / OFF 0:OFF SDI入力1の映像内の局間情報を無視し、irdDownConvert(5)、audioInMixMain(3)、audioInMixSub(4)でダウンコンバート / IRD 音声生成方式を設定します。 1:ON SDI入力1の映像内のARIB STD-B39形式の局間情報を読み取り、局間情報に連動してダウンコンバート / IRD 音声生成方式を設定します。 局間情報がない場合は最後に読み取った局間情報の設定を継続し、本体起動時から一度も局間情報がない場合はダウンコンバート方式 = サイドカット、IRD 音声生成方式 = ch1/ch2 を設定します。	GetRequest・SetRequestに対応
		resetDelayFrame(6)		000 ~ 001	読み書き	INTEGER	映像 / 音声ディレイ値の強制再計測 0:映像 / 音声ディレイ量の強制再計測処理を行わず、現状の計測結果を保持します。 (本項目をGETリクエストで読み出した場合は、常に0が読み出されます) 1:映像 / 音声ディレイ量の計測結果を全てリセットし、再計測処理を開始します。 VADに入力される局内信号 / IRD 信号が外部で切り替わる場合は、切り替わり時に本項目に1をSETして映像 / 音声ディレイ量を再計測する必要があります。	GetRequest・SetRequestに対応 (GetRequest時には常に0を返す)
		videoBlackArea(7)		000 ~ 003	読み書き	INTEGER	映像黒味エラー検出面積 0:映像の黒味面積が95%以上の状態を映像黒味エラーとして通知します。 1:映像の黒味面積が96%以上の状態を映像黒味エラーとして通知します。 2:映像の黒味面積が97%以上の状態を映像黒味エラーとして通知します。 3:映像の黒味面積が98%以上の状態を映像黒味エラーとして通知します。	GetRequest・SetRequestに対応
	videoBlackDetect(8)		000 ~ 001	読み書き	INTEGER	映像黒味エラー検出条件 0:フリーズの状態(映像の動きの有無)とは無関係に、映像黒味の状態のみで黒味エラーを判定します。 1:映像黒味かつフリーズ状態(映像に動きが無い)の場合のみを黒味エラーとします。	GetRequest・SetRequestに対応	
	sizeAdjustVFD(7)	sideCutHDHDFD(1)	hSizeSCHDHD(1)	000 ~ 031	読み書き	INTEGER	入出力映像 水平サイズ設定(入力映像画角=サイドカット、SDI1=HD/SDI2=HD) SDI入力1(送出側)の水平サイズを調整します。 標準値(無調整)=16で、値を小さくする(15,14,13...)と水平サイズを縮小し、値を大きくする(17,18,19...)と水平サイズを拡大します。	GetRequest・SetRequestに対応
			vSizeSCHDHD(2)	000 ~ 031	読み書き	INTEGER	入出力映像 垂直サイズ設定(入力映像画角=サイドカット、SDI1=HD/SDI2=HD) SDI入力1(送出側)の垂直サイズを調整します。 標準値(無調整)=16で、値を小さくする(15,14,13...)と垂直サイズを縮小し、値を大きくする(17,18,19...)と垂直サイズを拡大します。	GetRequest・SetRequestに対応
hPositionSCHDHD(3)			000 ~ 031	読み書き	INTEGER	入出力映像 水平位置設定(入力映像画角=サイドカット、SDI1=HD/SDI2=HD) SDI入力1(送出側)の水平位置を調整します。 標準値(無調整)=16で、値を小さくする(15,14,13...)と映像の位置を左に移動し、値を大きくする(17,18,19...)と映像の位置を右に移動します。	GetRequest・SetRequestに対応	
vPositionSCHDHD(4)			000 ~ 031	読み書き	INTEGER	入出力映像 垂直位置設定(入力映像画角=サイドカット、SDI1=HD/SDI2=HD) SDI入力1(送出側)の垂直位置を調整します。 標準値(無調整)=16で、値を小さくする(15,14,13...)と映像の位置を下に移動し、値を大きくする(17,18,19...)と映像の位置を上移動します。	GetRequest・SetRequestに対応	

unitSetting(4)	sizeAdjustVFD(7)	squeezeHDHDFD(2)	hSizeSQHDHD (1)	0 0 0 ~ 0 3 1	読み書き	INTEGER	入出力映像 水平サイズ設定(入力映像画角=スクイーズ、SDI1=HD/SDI2=HD) SDI入力1(送出側)の水平サイズを調整します。標準値(無調整)=16で、値を小さくする(15,14,13...)と水平サイズを縮小し、値を大きくする(17,18,19...)と水平サイズを拡大します。	GetRequest・SetRequestに対応
			vSizeSQHDHD (2)	0 0 0 ~ 0 3 1	読み書き	INTEGER	入出力映像 垂直サイズ設定(入力映像画角=スクイーズ、SDI1=HD/SDI2=HD) SDI入力1(送出側)の垂直サイズを調整します。標準値(無調整)=16で、値を小さくする(15,14,13...)と垂直サイズを縮小し、値を大きくする(17,18,19...)と垂直サイズを拡大します。	GetRequest・SetRequestに対応
			hPositionSQHDHD (3)	0 0 0 ~ 0 3 1	読み書き	INTEGER	入出力映像 水平位置設定(入力映像画角=スクイーズ、SDI1=HD/SDI2=HD) SDI入力1(送出側)の水平位置を調整します。標準値(無調整)=16で、値を小さくする(15,14,13...)と映像の位置を左に移動し、値を大きくする(17,18,19...)と映像の位置を右に移動します。	GetRequest・SetRequestに対応
			vPositionSQHDHD (4)	0 0 0 ~ 0 3 1	読み書き	INTEGER	入出力映像 垂直位置設定(入力映像画角=スクイーズ、SDI1=HD/SDI2=HD) SDI入力1(送出側)の垂直位置を調整します。標準値(無調整)=16で、値を小さくする(15,14,13...)と映像の位置を下に移動し、値を大きくする(17,18,19...)と映像の位置を上移動します。	GetRequest・SetRequestに対応
		lbox16HDHDFD(3)	hSizeLB16HDHD (1)	0 0 0 ~ 0 3 1	読み書き	INTEGER	入出力映像 水平サイズ設定(入力映像画角=16.9レターボックス、SDI1=HD/SDI2=HD) SDI入力1(送出側)の水平サイズを調整します。標準値(無調整)=16で、値を小さくする(15,14,13...)と水平サイズを縮小し、値を大きくする(17,18,19...)と水平サイズを拡大します。	GetRequest・SetRequestに対応
			vSizeLB16HDHD (2)	0 0 0 ~ 0 3 1	読み書き	INTEGER	入出力映像 垂直サイズ設定(入力映像画角=16.9レターボックス、SDI1=HD/SDI2=HD) SDI入力1(送出側)の垂直サイズを調整します。標準値(無調整)=16で、値を小さくする(15,14,13...)と垂直サイズを縮小し、値を大きくする(17,18,19...)と垂直サイズを拡大します。	GetRequest・SetRequestに対応
			hPositionLB16HDHD (3)	0 0 0 ~ 0 3 1	読み書き	INTEGER	入出力映像 水平位置設定(入力映像画角=16.9レターボックス、SDI1=HD/SDI2=HD) SDI入力1(送出側)の水平位置を調整します。標準値(無調整)=16で、値を小さくする(15,14,13...)と映像の位置を左に移動し、値を大きくする(17,18,19...)と映像の位置を右に移動します。	GetRequest・SetRequestに対応
			vPositionLB16HDHD (4)	0 0 0 ~ 0 3 1	読み書き	INTEGER	入出力映像 垂直位置設定(入力映像画角=16.9レターボックス、SDI1=HD/SDI2=HD) SDI入力1(送出側)の垂直位置を調整します。標準値(無調整)=16で、値を小さくする(15,14,13...)と映像の位置を下に移動し、値を大きくする(17,18,19...)と映像の位置を上移動します。	GetRequest・SetRequestに対応
	lbox14HDHDFD(4)	hSizeLB14HDHD (1)	0 0 0 ~ 0 3 1	読み書き	INTEGER	入出力映像 水平サイズ設定(入力映像画角=14.9レターボックス、SDI1=HD/SDI2=HD) SDI入力1(送出側)の水平サイズを調整します。標準値(無調整)=16で、値を小さくする(15,14,13...)と水平サイズを縮小し、値を大きくする(17,18,19...)と水平サイズを拡大します。	GetRequest・SetRequestに対応	
		vSizeLB14HDHD (2)	0 0 0 ~ 0 3 1	読み書き	INTEGER	入出力映像 垂直サイズ設定(入力映像画角=14.9レターボックス、SDI1=HD/SDI2=HD) SDI入力1(送出側)の垂直サイズを調整します。標準値(無調整)=16で、値を小さくする(15,14,13...)と垂直サイズを縮小し、値を大きくする(17,18,19...)と垂直サイズを拡大します。	GetRequest・SetRequestに対応	
		hPositionLB14HDHD (3)	0 0 0 ~ 0 3 1	読み書き	INTEGER	入出力映像 水平位置設定(入力映像画角=14.9レターボックス、SDI1=HD/SDI2=HD) SDI入力1(送出側)の水平位置を調整します。標準値(無調整)=16で、値を小さくする(15,14,13...)と映像の位置を左に移動し、値を大きくする(17,18,19...)と映像の位置を右に移動します。	GetRequest・SetRequestに対応	
		vPositionLB14HDHD (4)	0 0 0 ~ 0 3 1	読み書き	INTEGER	入出力映像 垂直位置設定(入力映像画角=14.9レターボックス、SDI1=HD/SDI2=HD) SDI入力1(送出側)の垂直位置を調整します。標準値(無調整)=16で、値を小さくする(15,14,13...)と映像の位置を下に移動し、値を大きくする(17,18,19...)と映像の位置を上移動します。	GetRequest・SetRequestに対応	
	sideCutHDSDFD(5)	hSizeSCHSD (1)	0 0 0 ~ 0 3 1	読み書き	INTEGER	入出力映像 水平サイズ設定(入力映像画角=サイドカット、SDI1=HD/SDI2=SD) SDI入力1(送出側)の水平サイズを調整します。標準値(無調整)=16で、値を小さくする(15,14,13...)と水平サイズを縮小し、値を大きくする(17,18,19...)と水平サイズを拡大します。	GetRequest・SetRequestに対応	
		vSizeSCHSD (2)	0 0 0 ~ 0 3 1	読み書き	INTEGER	入出力映像 垂直サイズ設定(入力映像画角=サイドカット、SDI1=HD/SDI2=SD) SDI入力1(送出側)の垂直サイズを調整します。標準値(無調整)=16で、値を小さくする(15,14,13...)と垂直サイズを縮小し、値を大きくする(17,18,19...)と垂直サイズを拡大します。	GetRequest・SetRequestに対応	
		hPositionSCHSD (3)	0 0 0 ~ 0 3 1	読み書き	INTEGER	入出力映像 水平位置設定(入力映像画角=サイドカット、SDI1=HD/SDI2=SD) SDI入力1(送出側)の水平位置を調整します。標準値(無調整)=16で、値を小さくする(15,14,13...)と映像の位置を左に移動し、値を大きくする(17,18,19...)と映像の位置を右に移動します。	GetRequest・SetRequestに対応	

unitSetting(4)	sizeAdjustVFD(7)	sideCutHDSVDVFD(5)	vPositionSCHDSD (4)	0 0 0 ~ 0 3 1	読み書き	INTEGER	入出力映像 垂直位置設定(入力映像画角=サイドカット、SDI1=HD/SDI2=SD) SDI入力1(送出側)の垂直位置を調整します。 標準値(無調整)=16で、値を小さくする(15,14,13...)と映像の位置を下に移動し、 値を大きくする(17,18,19...)と映像の位置を上移動します。	GetRequest・SetRequestに対応	
			squeezeHDSVDVFD(6)	hSizeSQHDSD (1)	0 0 0 ~ 0 3 1	読み書き	INTEGER	入出力映像 水平サイズ設定(入力映像画角=スクイーズ、SDI1=HD/SDI2=SD) SDI入力1(送出側)の水平サイズを調整します。 標準値(無調整)=16で、値を小さくする(15,14,13...)と水平サイズを縮小し、 値を大きくする(17,18,19...)と水平サイズを拡大します。	GetRequest・SetRequestに対応
				vSizeSQHDSD (2)	0 0 0 ~ 0 3 1	読み書き	INTEGER	入出力映像 垂直サイズ設定(入力映像画角=スクイーズ、SDI1=HD/SDI2=SD) SDI入力1(送出側)の垂直サイズを調整します。 標準値(無調整)=16で、値を小さくする(15,14,13...)と垂直サイズを縮小し、 値を大きくする(17,18,19...)と垂直サイズを拡大します。	GetRequest・SetRequestに対応
				hPositionSQHDSD (3)	0 0 0 ~ 0 3 1	読み書き	INTEGER	入出力映像 水平位置設定(入力映像画角=スクイーズ、SDI1=HD/SDI2=SD) SDI入力1(送出側)の水平位置を調整します。 標準値(無調整)=16で、値を小さくする(15,14,13...)と映像の位置を左に移動し、 値を大きくする(17,18,19...)と映像の位置を右に移動します。	GetRequest・SetRequestに対応
				vPositionSQHDSD (4)	0 0 0 ~ 0 3 1	読み書き	INTEGER	入出力映像 垂直位置設定(入力映像画角=スクイーズ、SDI1=HD/SDI2=SD) SDI入力1(送出側)の垂直位置を調整します。 標準値(無調整)=16で、値を小さくする(15,14,13...)と映像の位置を下に移動し、 値を大きくする(17,18,19...)と映像の位置を上移動します。	GetRequest・SetRequestに対応
		lbox16HDSVDVFD(7)	hSizeLB16HDSD (1)	0 0 0 ~ 0 3 1	読み書き	INTEGER	入出力映像 水平サイズ設定(入力映像画角=16:9レターボックス、SDI1=HD/SDI2=SD) SDI入力1(送出側)の水平サイズを調整します。 標準値(無調整)=16で、値を小さくする(15,14,13...)と水平サイズを縮小し、 値を大きくする(17,18,19...)と水平サイズを拡大します。	GetRequest・SetRequestに対応	
			vSizeLB16HDSD (2)	0 0 0 ~ 0 3 1	読み書き	INTEGER	入出力映像 垂直サイズ設定(入力映像画角=16:9レターボックス、SDI1=HD/SDI2=SD) SDI入力1(送出側)の垂直サイズを調整します。 標準値(無調整)=16で、値を小さくする(15,14,13...)と垂直サイズを縮小し、 値を大きくする(17,18,19...)と垂直サイズを拡大します。	GetRequest・SetRequestに対応	
			hPositionLB16HDSD (3)	0 0 0 ~ 0 3 1	読み書き	INTEGER	入出力映像 水平位置設定(入力映像画角=16:9レターボックス、SDI1=HD/SDI2=SD) SDI入力1(送出側)の水平位置を調整します。 標準値(無調整)=16で、値を小さくする(15,14,13...)と映像の位置を左に移動し、 値を大きくする(17,18,19...)と映像の位置を右に移動します。	GetRequest・SetRequestに対応	
			vPositionLB16HDSD (4)	0 0 0 ~ 0 3 1	読み書き	INTEGER	入出力映像 垂直位置設定(入力映像画角=16:9レターボックス、SDI1=HD/SDI2=SD) SDI入力1(送出側)の垂直位置を調整します。 標準値(無調整)=16で、値を小さくする(15,14,13...)と映像の位置を下に移動し、 値を大きくする(17,18,19...)と映像の位置を上移動します。	GetRequest・SetRequestに対応	
		lbox14HDSVDVFD(8)	hSizeLB14HDSD (1)	0 0 0 ~ 0 3 1	読み書き	INTEGER	入出力映像 水平サイズ設定(入力映像画角=14:9レターボックス、SDI1=HD/SDI2=SD) SDI入力1(送出側)の水平サイズを調整します。 標準値(無調整)=16で、値を小さくする(15,14,13...)と水平サイズを縮小し、 値を大きくする(17,18,19...)と水平サイズを拡大します。	GetRequest・SetRequestに対応	
			vSizeLB14HDSD (2)	0 0 0 ~ 0 3 1	読み書き	INTEGER	入出力映像 垂直サイズ設定(入力映像画角=14:9レターボックス、SDI1=HD/SDI2=SD) SDI入力1(送出側)の垂直サイズを調整します。 標準値(無調整)=16で、値を小さくする(15,14,13...)と垂直サイズを縮小し、 値を大きくする(17,18,19...)と垂直サイズを拡大します。	GetRequest・SetRequestに対応	
			hPositionLB14HDSD (3)	0 0 0 ~ 0 3 1	読み書き	INTEGER	入出力映像 水平位置設定(入力映像画角=14:9レターボックス、SDI1=HD/SDI2=SD) SDI入力1(送出側)の水平位置を調整します。 標準値(無調整)=16で、値を小さくする(15,14,13...)と映像の位置を左に移動し、 値を大きくする(17,18,19...)と映像の位置を右に移動します。	GetRequest・SetRequestに対応	
			vPositionLB14HDSD (4)	0 0 0 ~ 0 3 1	読み書き	INTEGER	入出力映像 垂直位置設定(入力映像画角=14:9レターボックス、SDI1=HD/SDI2=SD) SDI入力1(送出側)の垂直位置を調整します。 標準値(無調整)=16で、値を小さくする(15,14,13...)と映像の位置を下に移動し、 値を大きくする(17,18,19...)と映像の位置を上移動します。	GetRequest・SetRequestに対応	
		sideCutSDHVDVFD(9)	hSizeSCSDHD (1)	0 0 0 ~ 0 3 1	読み書き	INTEGER	入出力映像 水平サイズ設定(入力映像画角=サイドカット、SDI1=SD/SDI2=HD) SDI入力1(送出側)の水平サイズを調整します。 標準値(無調整)=16で、値を小さくする(15,14,13...)と水平サイズを縮小し、 値を大きくする(17,18,19...)と水平サイズを拡大します。	GetRequest・SetRequestに対応	
			vSizeSCSDHD (2)	0 0 0 ~ 0 3 1	読み書き	INTEGER	入出力映像 垂直サイズ設定(入力映像画角=サイドカット、SDI1=SD/SDI2=HD) SDI入力1(送出側)の垂直サイズを調整します。 標準値(無調整)=16で、値を小さくする(15,14,13...)と垂直サイズを縮小し、 値を大きくする(17,18,19...)と垂直サイズを拡大します。	GetRequest・SetRequestに対応	

unitSetting(4)	sizeAdjustVFD(7)	sideCutSDHVD(9)	hPositionSCSDHD (3)	0 0 0 ~ 0 3 1	読み書き	INTEGER	入出力映像 水平位置設定(入力映像画角=サイドカット、SDI1=SD/SDI2=HD) SDI入力1(送出側)の水平位置を調整します。標準値(無調整)=16で、値を小さくする(15,14,13...)と映像の位置を左に移動し、値を大きくする(17,18,19...)と映像の位置を右に移動します。	GetRequest・SetRequestに対応
			vPositionSCSDHD (4)	0 0 0 ~ 0 3 1	読み書き	INTEGER	入出力映像 垂直位置設定(入力映像画角=サイドカット、SDI1=SD/SDI2=HD) SDI入力1(送出側)の垂直位置を調整します。標準値(無調整)=16で、値を小さくする(15,14,13...)と映像の位置を下に移動し、値を大きくする(17,18,19...)と映像の位置を上移動します。	GetRequest・SetRequestに対応
		squeezeSDHVD(10)	hSizeSQSDHD (1)	0 0 0 ~ 0 3 1	読み書き	INTEGER	入出力映像 水平サイズ設定(入力映像画角=スクイーズ、SDI1=SD/SDI2=HD) SDI入力1(送出側)の水平サイズを調整します。標準値(無調整)=16で、値を小さくする(15,14,13...)と水平サイズを縮小し、値を大きくする(17,18,19...)と水平サイズを拡大します。	GetRequest・SetRequestに対応
			vSizeSQSDHD (2)	0 0 0 ~ 0 3 1	読み書き	INTEGER	入出力映像 垂直サイズ設定(入力映像画角=スクイーズ、SDI1=SD/SDI2=HD) SDI入力1(送出側)の垂直サイズを調整します。標準値(無調整)=16で、値を小さくする(15,14,13...)と垂直サイズを縮小し、値を大きくする(17,18,19...)と垂直サイズを拡大します。	GetRequest・SetRequestに対応
			hPositionSQSDHD (3)	0 0 0 ~ 0 3 1	読み書き	INTEGER	入出力映像 水平位置設定(入力映像画角=スクイーズ、SDI1=SD/SDI2=HD) SDI入力1(送出側)の水平位置を調整します。標準値(無調整)=16で、値を小さくする(15,14,13...)と映像の位置を左に移動し、値を大きくする(17,18,19...)と映像の位置を右に移動します。	GetRequest・SetRequestに対応
			vPositionSQSDHD (4)	0 0 0 ~ 0 3 1	読み書き	INTEGER	入出力映像 垂直位置設定(入力映像画角=スクイーズ、SDI1=SD/SDI2=HD) SDI入力1(送出側)の垂直位置を調整します。標準値(無調整)=16で、値を小さくする(15,14,13...)と映像の位置を下に移動し、値を大きくする(17,18,19...)と映像の位置を上移動します。	GetRequest・SetRequestに対応
		lbox16SDHVD(11)	hSizeLB16SDHD (1)	0 0 0 ~ 0 3 1	読み書き	INTEGER	入出力映像 水平サイズ設定(入力映像画角=16.9レターボックス、SDI1=SD/SDI2=HD) SDI入力1(送出側)の水平サイズを調整します。標準値(無調整)=16で、値を小さくする(15,14,13...)と水平サイズを縮小し、値を大きくする(17,18,19...)と水平サイズを拡大します。	GetRequest・SetRequestに対応
			vSizeLB16SDHD (2)	0 0 0 ~ 0 3 1	読み書き	INTEGER	入出力映像 垂直サイズ設定(入力映像画角=16.9レターボックス、SDI1=SD/SDI2=HD) SDI入力1(送出側)の垂直サイズを調整します。標準値(無調整)=16で、値を小さくする(15,14,13...)と垂直サイズを縮小し、値を大きくする(17,18,19...)と垂直サイズを拡大します。	GetRequest・SetRequestに対応
			hPositionLB16SDHD (3)	0 0 0 ~ 0 3 1	読み書き	INTEGER	入出力映像 水平位置設定(入力映像画角=16.9レターボックス、SDI1=SD/SDI2=HD) SDI入力1(送出側)の水平位置を調整します。標準値(無調整)=16で、値を小さくする(15,14,13...)と映像の位置を左に移動し、値を大きくする(17,18,19...)と映像の位置を右に移動します。	GetRequest・SetRequestに対応
			vPositionLB16SDHD (4)	0 0 0 ~ 0 3 1	読み書き	INTEGER	入出力映像 垂直位置設定(入力映像画角=16.9レターボックス、SDI1=SD/SDI2=HD) SDI入力1(送出側)の垂直位置を調整します。標準値(無調整)=16で、値を小さくする(15,14,13...)と映像の位置を下に移動し、値を大きくする(17,18,19...)と映像の位置を上移動します。	GetRequest・SetRequestに対応
		lbox14SDHVD(12)	hSizeLB14SDHD (1)	0 0 0 ~ 0 3 1	読み書き	INTEGER	入出力映像 水平サイズ設定(入力映像画角=14.9レターボックス、SDI1=SD/SDI2=HD) SDI入力1(送出側)の水平サイズを調整します。標準値(無調整)=16で、値を小さくする(15,14,13...)と水平サイズを縮小し、値を大きくする(17,18,19...)と水平サイズを拡大します。	GetRequest・SetRequestに対応
			vSizeLB14SDHD (2)	0 0 0 ~ 0 3 1	読み書き	INTEGER	入出力映像 垂直サイズ設定(入力映像画角=14.9レターボックス、SDI1=SD/SDI2=HD) SDI入力1(送出側)の垂直サイズを調整します。標準値(無調整)=16で、値を小さくする(15,14,13...)と垂直サイズを縮小し、値を大きくする(17,18,19...)と垂直サイズを拡大します。	GetRequest・SetRequestに対応
			hPositionLB14SDHD (3)	0 0 0 ~ 0 3 1	読み書き	INTEGER	入出力映像 水平位置設定(入力映像画角=14.9レターボックス、SDI1=SD/SDI2=HD) SDI入力1(送出側)の水平位置を調整します。標準値(無調整)=16で、値を小さくする(15,14,13...)と映像の位置を左に移動し、値を大きくする(17,18,19...)と映像の位置を右に移動します。	GetRequest・SetRequestに対応
			vPositionLB14SDHD (4)	0 0 0 ~ 0 3 1	読み書き	INTEGER	入出力映像 垂直位置設定(入力映像画角=14.9レターボックス、SDI1=SD/SDI2=HD) SDI入力1(送出側)の垂直位置を調整します。標準値(無調整)=16で、値を小さくする(15,14,13...)と映像の位置を下に移動し、値を大きくする(17,18,19...)と映像の位置を上移動します。	GetRequest・SetRequestに対応
		sdVFD(13)	hSizeSD(1)	0 0 0 ~ 0 3 1	読み書き	INTEGER	入出力映像 水平サイズ設定(SDI1/SDI2ともSD-SDI) SDI入力1(送出側)の水平サイズを調整します。標準値(無調整)=16で、値を小さくする(15,14,13...)と水平サイズを縮小し、値を大きくする(17,18,19...)と水平サイズを拡大します。	GetRequest・SetRequestに対応

unitSetting(4)	sizeAdjustVFD(7)	sdVFD(13)	(2)				Reserve	
			hPositionSD(3)	0 0 0 ~ 0 3 1	読み書き	INTEGER	入出力映像 水平位置設定 (SDI1/SDI2 とも SD-SDI) SDI入力 1 (送出側) の水平位置を調整します。標準値 (無調整)=16 で、値を小さくする (15,14,13...) と映像の位置を左に移動し、値を大きくする (17,18,19...) と映像の位置を右に移動します。	GetRequest・SetRequestに対応
			vPositionSD(4)	0 0 0 ~ 0 3 1	読み書き	INTEGER	入出力映像 垂直位置設定 (SDI1/SDI2 とも SD-SDI) SDI入力 1 (送出側) の垂直位置を調整します。標準値 (無調整)=16 で、値を小さくする (15,14,13...) と映像の位置を下に移動し、値を大きくする (17,18,19...) と映像の位置を上を移動します。	GetRequest・SetRequestに対応
	audioMaskSettingVFD(8)	audioErrorMaskVFD(1)		0 0 0 ~ 0 0 1	読み書き	INTEGER	音声エラーマスク設定 (VFD メニュー「Audio Error Mask」) 音声アラーム機能を使用した場合、未使用の音声 ch に関しては常に正常と見なしてエラー TRAP を出力しません。 0: 音声エラーマスク機能を使用しない 1: 音声エラーマスク機能を使用する	GetRequest・SetRequestに対応
		mainIRDAudioVFD(2)		0 0 0 ~ 0 0 1	読み書き	INTEGER	主音用 IRD の音声フォーマット設定 (VFD メニュー「Main IRD Audio」) 0: リニア PCM 音声 1: AAC 音声	GetRequest・SetRequestに対応
		useSubIRDVFD(3)		0 0 0 ~ 0 0 1	読み書き	INTEGER	副音用 IRD の有無設定 (VFD メニュー「Use Sub IRD」) 0: 副音用 IRD あり 1: 副音用 IRD 無し	GetRequest・SetRequestに対応
		defaultAudioVFD(4)		0 0 0 ~ 0 0 3	読み書き	INTEGER	音声エラーマスク時のデフォルト音声モード設定 (VFD メニュー「Default Audio」) 0 ~ 3: デフォルト音声モード設定 mainIRDAudioVFD(2) / useSubIRDVFD(3) の設定によって 内容が異なります (別表参照)	GetRequest・SetRequestに対応
		setMaskVFD(5)		0 0 0 ~ 0 0 2	読み書き	INTEGER	素材途中で局間情報が無くなった時のマスク設定 (VFD メニュー「Mask Set(No ANC)」) 0: 最後に読み取った音声モードを保持する 1: デフォルト音声モードに戻る 2: 局間情報の有無に関係なく defaultAudioVFD(4) で設定したデフォルト音声モードに従ってマスクする	GetRequest・SetRequestに対応
		mask51AudioVFD(6)		0 0 0 ~ 0 0 2	読み書き	INTEGER	音声モード=5.1ch 時の SDI 側 (送出側) 音声 ch1 ~ ch6 のエラーマスク設定 (VFD メニュー「5.1ch Audio Mask」) 0: ch1 ~ ch6 をマスクしない 1: ch3 ~ ch6 のみマスクする (ch1 ~ ch2 はマスクしない) 2: ch1 ~ ch6 を全てマスクする	GetRequest・SetRequestに対応
	otherSettingVFD(9)	sizePosSourceVFD(1)		0 0 0 ~ 0 0 1	読み書き	INTEGER	画面サイズ / 位置設定の読み取り元設定 (VFD メニュー「Size/Pos Source」) 0: sizeAdjustVFD(7) または 正面 VFD メニューで設定した画面サイズ / 位置設定を比較画面に反映させる 1: sizeAdjust(4)hSize(1) ~ sizeAdjust(4)vPosition(4) で設定した画面サイズ / 位置設定を比較画面に反映させる	GetRequest・SetRequestに対応
audioErrorBarVFD(2)			0 0 0 ~ 0 0 1	読み書き	INTEGER	音声比較バー ON/OFF 設定 (VFD メニュー「Audio Error Bar」) 0: ADJUST MONITOR 画面右下に音声比較バーを表示する 1: ADJUST MONITOR 画面右下に音声比較バーを表示しない	GetRequest・SetRequestに対応	
setANCInfoVFD(3)			0 0 0 ~ 0 0 2	読み書き	INTEGER	局間情報連動設定 (VFD メニュー「V-ANC Set」) 0: 画角 / 音声モードとも局間情報に連動する 1: 画角のみ局間情報に連動し、音声モードは audioInMixMain(3) / audioInMixSub(4) の設定を使用する 2: 音声モードのみ局間情報に連動し、画角は irdDownConvert(5) の設定を使用する	GetRequest・SetRequestに対応	

: defaultAudioVFD(4)の設定値に対応するデフォルト音声モードは、mainIRDAudioVFD(2) (主音用 IRD の音声フォーマット) および useSubIRDVFD(3)の設定値 (副音用 IRD の有無) によって下記の通りになります。

・ mainIRDAudioVFD(2)=0 / useSubIRDVFD(3)=0 (主音用 IRD 音声=リニア PCM / 副音用 IRD あり)

defaultAudioVFD(4)の設定値	デフォルト音声モード
0	入力 1~2ch使用 / 出力 1~2ch使用
1	入力 1~4ch使用 / 出力 1~4ch使用
2	入力 1~6ch使用 / 出力 1~2ch使用
3	入力 1~8ch使用 / 出力 1~4ch使用

・ mainIRDAudioVFD(2)=0 / useSubIRDVFD(3)=1 (主音用 IRD 音声=リニア PCM / 副音用 IRD 無し)

defaultAudioVFD(4)の設定値	デフォルト音声モード
0	入力 1~2ch使用 / 出力 1~2ch使用
1	入力 1~4ch使用 / 出力 1~2ch使用
2	入力 1~6ch使用 / 出力 1~2ch使用
3	入力 1~8ch使用 / 出力 1~2ch使用

・ mainIRDAudioVFD(2)=1 / useSubIRDVFD(3)=0 (主音用 IRD 音声=AAC / 副音用 IRD あり)

defaultAudioVFD(4)の設定値	デフォルト音声モード
0	入力 1~2ch使用 / 出力 1~2ch使用
1	入力 1~4ch使用 / 出力 1~2, 7~8ch使用
2	入力 1~6ch使用 / 出力 1~6ch使用
3	入力 1~8ch使用 / 出力 1~8ch使用

・ mainIRDAudioVFD(2)=1 / useSubIRDVFD(3)=1 (主音用 IRD 音声=AAC / 副音用 IRD 無し)

defaultAudioVFD(4)の設定値	デフォルト音声モード
0	入力 1~2ch使用 / 出力 1~2ch使用
1	入力 1~4ch使用 / 出力 1~2ch使用
2	入力 1~6ch使用 / 出力 1~6ch使用
3	入力 1~8ch使用 / 出力 1~6ch使用

unitSetting(4)内での“主音”“副音”の定義は、ARIB STD-B39 形式の局間情報の内容によって下記の通りになります。

局間情報の音声モード	主音	副音
2M/4M/S/2S/S+2M(1)	ch1/ch2	ch3/ch4
M	ch1/ch1(2)	ch3/ch4
3M/S+M	ch1/ch2	ch3/ch3(2)
5.1/5.1+S	ch1(DM)/ch2(DM) (3)	ch7/ch8

(1) 本体起動時から一度も局間情報が無い場合、主音=ch1/ch2、副音=ch3/ch4 を設定します

(2) ch1/ch1: 音声 ch1 の内容を音声 ch2 にコピーし、両 ch に同じ音声を出力

ch3/ch3: 音声 ch3 の内容を音声 ch4 にコピーし、両 ch に同じ音声を出力

(3) DM: ダウンミックス

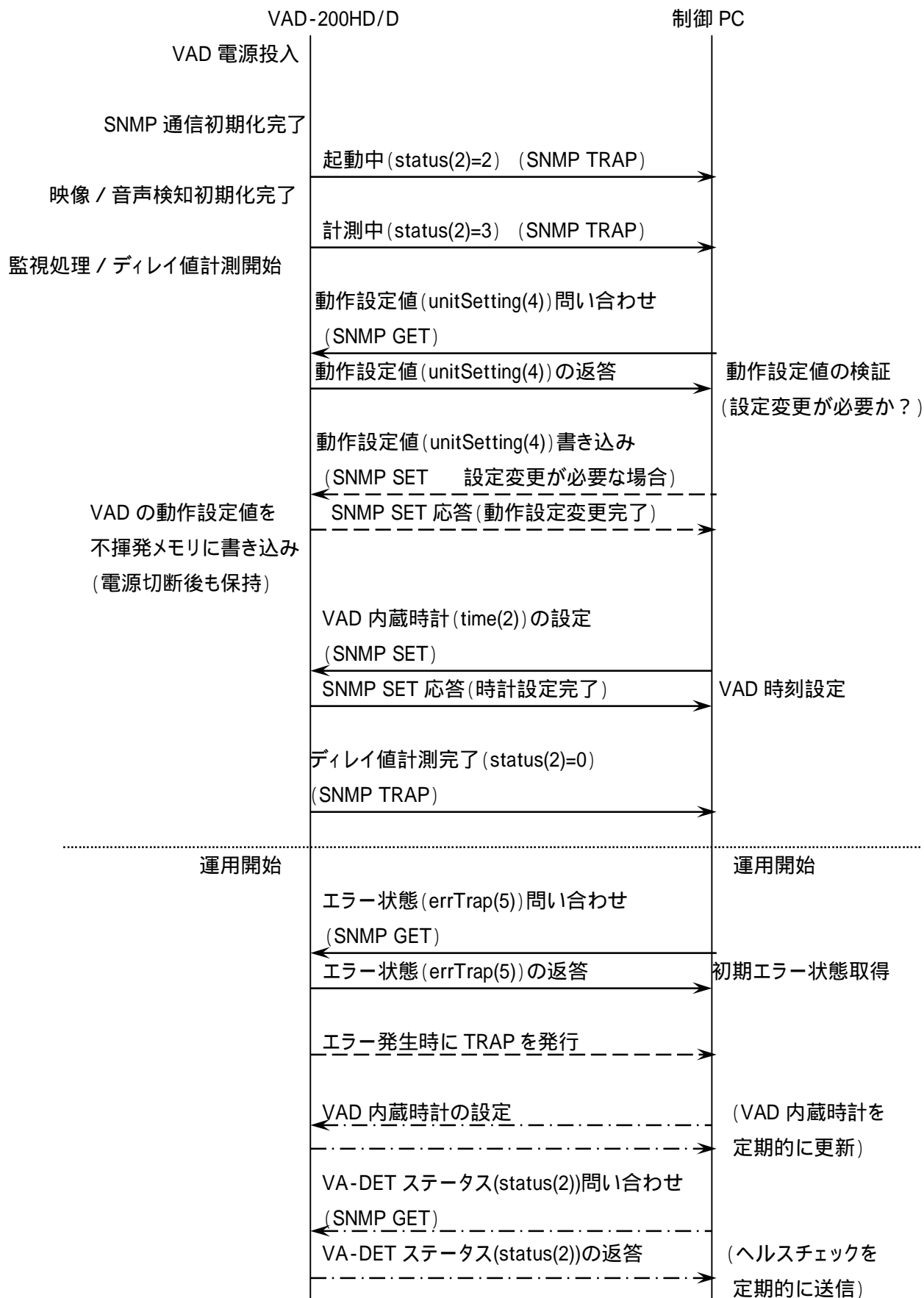
errTrap(5)	input(1)	inVideo(1)	baseInStatus(1)	0 0 0 ~ 0 0 3	読み込み	INTEGER	入力映像ベースステータス 0:正常 1:黒味 2:フリーズ 3:レベル異常	GetRequest・Trapに対応
			windowInStatus(2)	0 0 0 ~ 0 0 3	読み込み	INTEGER	入力映像ウィンドウステータス 0:正常 1:黒味 2:フリーズ 3:レベル異常	GetRequest・Trapに対応
			inClosedCaption(3)	0 0 0 ~ 0 0 1	読み込み	INTEGER	入力映像クローズドキャプションステータス 0:無し 1:VBIクローズドキャプションを検出 2:ANCクローズドキャプションを検出	GetRequest・Trapに対応
			inSync(4)	0 0 0 ~ 0 0 2	読み込み	INTEGER	入力映像の信号状態 0:SD - SDI 1:HD - SDI 2:同期断	GetRequest・Trapに対応
	inAudio(2)		ch1InStatus(1)	0 0 0 ~ 0 0 5	読み込み	INTEGER	入力音声ch1(L)ステータス 0:正常 1:無音 2:レベル低 3:レベル高	GetRequest・Trapに対応
			ch2InStatus(2)	0 0 0 ~ 0 0 5	読み込み	INTEGER	入力音声ch2(R)ステータス 0:正常 1:無音 2:レベル低 3:レベル高	GetRequest・Trapに対応
			ch3InStatus(3)	0 0 0 ~ 0 0 5	読み込み	INTEGER	入力音声ch3(C)ステータス 0:正常 1:無音 2:レベル低 3:レベル高	GetRequest・Trapに対応
			ch4InStatus(4)	0 0 0 ~ 0 0 5	読み込み	INTEGER	入力音声ch4(LFE)ステータス 0:正常 1:無音 2:レベル低 3:レベル高	GetRequest・Trapに対応
			ch5InStatus(5)	0 0 0 ~ 0 0 5	読み込み	INTEGER	入力音声ch5(LS)ステータス 0:正常 1:無音 2:レベル低 3:レベル高	GetRequest・Trapに対応
			ch6InStatus(6)	0 0 0 ~ 0 0 5	読み込み	INTEGER	入力音声ch6(RS)ステータス 0:正常 1:無音 2:レベル低 3:レベル高	GetRequest・Trapに対応
			ch7InStatus(7)	0 0 0 ~ 0 0 5	読み込み	INTEGER	入力音声ch7(Lt)ステータス 0:正常 1:無音 2:レベル低 3:レベル高	GetRequest・Trapに対応
			ch8InStatus(8)	0 0 0 ~ 0 0 5	読み込み	INTEGER	入力音声ch8(Rt)ステータス 0:正常 1:無音 2:レベル低 3:レベル高	GetRequest・Trapに対応

errTrap(5)	input(1)	inOther(3)	inAudioCh12Phase(1)	000 ~ 001	読み込み	INTEGER	入力音声 L/R フェーズ 0: 正常 1: 逆相	GetRequest・Trapに対応
			inAudioCh78Phase(2)	000 ~ 001	読み込み	INTEGER	入力音声 Lt/Rt フェーズ 0: 正常 1: 逆相	GetRequest・Trapに対応
			inAudio1khz(3)	000 ~ 001	読み込み	INTEGER	入力音声 1 kHz 0: なし 1: 検知	GetRequest・Trapに対応
		inReserve(4)	inReserve1(1)	999: 固定	読み込み	INTEGER	入力関係予備 (未使用)	GetRequest・Trapに対応
			inReserve2(2)	999: 固定	読み込み	INTEGER	入力関係予備 (未使用)	GetRequest・Trapに対応
			inReserve3(3)	999: 固定	読み込み	INTEGER	入力関係予備 (未使用)	GetRequest・Trapに対応
			inReserve4(4)	999: 固定	読み込み	INTEGER	入力関係予備 (未使用)	GetRequest・Trapに対応
	output(2)	outVideo(1)	baseOutStatus(1)	000 ~ 003	読み込み	INTEGER	出力映像ベースステータス 0: 正常 1: 黒味 2: フリーズ 3: レベル異常	GetRequest・Trapに対応
			windowOutStatus(2)	000 ~ 003	読み込み	INTEGER	出力映像ウィンドウステータス 0: 正常 1: 黒味 2: フリーズ 3: レベル異常	GetRequest・Trapに対応
			outClosedCaption(3)	000 ~ 002	読み込み	INTEGER	出力映像クローズドキャプションステータス 0: 無し 1: VBI クローズドキャプションを検出	GetRequest・Trapに対応
			outSync(4)	000 ~ 002	読み込み	INTEGER	出力映像の信号状態 0: SD - SDI 1: HD - SDI 2: 同期断	GetRequest・Trapに対応
		outAudio(2)	ch1OutStatus(1)	000 ~ 003	読み込み	INTEGER	出力音声 ch1(L) ステータス 0: 正常 1: 無音 2: レベル低 3: レベル高	GetRequest・Trapに対応
			ch2OutStatus(2)	000 ~ 003	読み込み	INTEGER	出力音声 ch2(R) ステータス 0: 正常 1: 無音 2: レベル低 3: レベル高	GetRequest・Trapに対応
			ch3OutStatus(3)	000 ~ 003	読み込み	INTEGER	出力音声 ch3(C) ステータス 0: 正常 1: 無音 2: レベル低 3: レベル高	GetRequest・Trapに対応
			ch4OutStatus(4)	000 ~ 003	読み込み	INTEGER	出力音声 ch4(LFE) ステータス 0: 正常 1: 無音 2: レベル低 3: レベル高	GetRequest・Trapに対応
ch5OutStatus(5)	000 ~ 003		読み込み	INTEGER	出力音声 ch5(Ls) ステータス 0: 正常 1: 無音 2: レベル低 3: レベル高	GetRequest・Trapに対応		

errTrap(5)	output(2)	outAudio(2)	ch6OutStatus(6)	000 ~ 003	読み込み	INTEGER	出力音声 ch6(Rs)ステータス 0:正常 1:無音 2:レベル低 3:レベル高	GetRequest・Trapに対応
			ch7OutStatus(7)	000 ~ 003	読み込み	INTEGER	出力音声 ch7(Lt) ステータス 0:正常 1:無音 2:レベル低 3:レベル高	GetRequest・Trapに対応
			ch8OutStatus(8)	000 ~ 003	読み込み	INTEGER	出力音声 ch8(Rt)ステータス 0:正常 1:無音 2:レベル低 3:レベル高	GetRequest・Trapに対応
		outOther(3)	outAudioCh12Phase(1)	000 ~ 001	読み込み	INTEGER	出力音声 L/R フェーズ 0:正常 1:逆相	GetRequest・Trapに対応
			outAudioCh78Phase(2)	000 ~ 001	読み込み	INTEGER	出力音声 Lt/Rt フェーズ 0:正常 1:逆相	GetRequest・Trapに対応
			outAudio1khz(3)	000 ~ 001	読み込み	INTEGER	出力音声 1 kHz 0:なし 1:検知	GetRequest・Trapに対応
		outReserve(4)	outReserve1(1)	999:固定	読み込み	INTEGER	出力関係予備1(未使用)	GetRequest・Trapに対応
			outReserve2(2)	999:固定	読み込み	INTEGER	出力関係予備2(未使用)	GetRequest・Trapに対応
			outReserve3(3)	999:固定	読み込み	INTEGER	出力関係予備3(未使用)	GetRequest・Trapに対応
	outReserve4(4)		999:固定	読み込み	INTEGER	出力関係予備4(未使用)	GetRequest・Trapに対応	
	inout(3)	both(1)	videoCompare(1)	000 ~ 096	読み込み	INTEGER	入出力映像比較 0:一致 エラーブロック数が画像比較しきい値2を越えない場合は一致とします。 1 ~ 96:不一致 エラーブロック数が画像比較しきい値2を越える場合は不一致とし、そのブロック数を通知します。	GetRequest・Trapに対応
			audioCompareLmain(2)	000 ~ 100	読み込み	INTEGER	入出力音声比較L(主音) 0:一致 相関値が音声比較しきい値を越えない場合は一致とします。 1 ~ 100:不一致 相関値が音声比較しきい値を越える場合は不一致とし、その相関値を通知します。	GetRequest・Trapに対応
			audioCompareRmain(3)	000 ~ 100	読み込み	INTEGER	入出力音声比較R(主音) 0:一致 相関値が音声比較しきい値を越えない場合は一致とします。 1 ~ 100:不一致 相関値が音声比較しきい値を越える場合は不一致とし、その相関値を通知します。	GetRequest・Trapに対応
audioCompareLsub(4)			000 ~ 100	読み込み	INTEGER	入出力音声比較L(副音) 0:一致 相関値が音声比較しきい値を越えない場合は一致とします。 1 ~ 100:不一致 相関値が音声比較しきい値を越える場合は不一致とし、その相関値を通知します。	GetRequest・Trapに対応	
audioCompareRsub(5)			000 ~ 100	読み込み	INTEGER	入出力音声比較R(副音) 0:一致 相関値が音声比較しきい値を越えない場合は一致とします。 1 ~ 100:不一致 相関値が音声比較しきい値を越える場合は不一致とし、その相関値を通知します。	GetRequest・Trapに対応	

errTrap は状態に変化があった場合に通知されます。

起動シーケンス)



Rev	内容	日付	担当
暫定版	暫定版として新規作成	2008/1/24	山田
1.0	初版	2008/1/30	山田
1.2	<ul style="list-style-type: none"> ・音声レベルの測定範囲を0～60(0dB～-60dB)に変更 ・音声無音検知設定のMIB項目を追加 ・映像黒味検知設定のMIB項目を追加 ・VFDメニュー関連のMIB項目を追加 	2008/12/28	山田
1.3	・5.1ch 音声のマスク設定を追加	2009/1/6	山田